

カメラのファインダーを通して



最近ではカメラと言えば、デジカメが主流である。携帯電話の写真機能も含めて便利になった。結婚式や披露宴においてもカメラのほとんどがデジカメか携帯電話でパチパチ撮っている。カメラ売場もデジカメがほとんどである。

私も昔から写真が好きで、山とか風景写真を撮っていた。そんな中、10年前にこどもが少年野球を始めたこともあり、野球の写真を撮ることにした。そうは言っても、ダックアウトやグラウンド内から撮る訳にはいかない。大きな制約がある。

そこで、超望遠レンズとかプロ用レンズを多くのレンズを買い求めた。ある日、こどもと横浜スタジアムにナイター観戦に行った時、バックネット裏に新聞社のカメラマンがいたが、カメラとレンズは自分の物と同じであった。道具は揃ったということになる。

年間どの位写真を撮るかという、大体1500枚程度である。少年野球の盛んな地域で年間10回の大会があり、相手チームの選手も撮って、写真を渡し、選手本人はもとより親から喜ばれた。野球は、一般のカメラでは撮ることが難しいからである。

旭区福祉保健センター担当部長 岩澤 幹夫

少年野球の写真を撮り始めて、ある発見をした。ファインダーから覗いたバッターボックスの打者の姿が普段と違うように感じられる時が何度かあった。その時、バッターは長打を必ず打った。毎週土曜・日曜の練習で年間を通してこども達を見ているので、その姿に違うことを感じられた。

そのことは、写真が出来上がった時にもはっきりわかる。あえて監督を断り、代表をやっていて喜びの一瞬である。



人は頑張る

それが形の上でも現れる

そんなことを少年野球を通して

カメラのファインダーを通して学んだ

そして、こどもたちは

少年野球の写真から成長して

今、それぞれに頑張っている



『共に歩む市民の会』

総会報告

河口 友美 (旭福祉保健センター)

6月10日に特定非営利活動法人「共に歩む市民の会」第2回通常総会が旭区役所新館大会議室で行われました。

司会は高田さん(神奈川病院)で、議長に小田さん(葦の会)が選出され、書記は宮坂さん(保土ヶ谷病院)、河口が担当しました。出席者は個人会員26名、体会員3名、また委任状7名で総会成立、議事は滞りなく承認されました。

「ほっとぽっと」が開所し2度目の総会。第1部では17年度の事業報告、収支決算、また「ほっとぽっと」の運営の基盤となる18年度の事業計画、収支予算についてなどが議論されました。第2部ではこれまでの調査研究試行事業(訪問、夜間電話、宿泊支援)の活動内容の報告会も行われ、活動に関わる皆さんの声を聞くことが出来、とても有意義な時間でした。

今回参加していただいた方々からも、さまざまな立場からの、総会の感想を含めた報告をしていただきました。



井上建夫さん

(会員、「ウイングス」メンバー)

まず、ほっとぽっとが色々な事をしている事を知ってよかった。

司会は、小田さん。小田さんの話とみなさんの色々なことが決まって、よろしいですかと質問。全員拍手。

ほっとぽっとは、今、色々な事をしています。

- ① 電話のサポート (ふくろう電話; 090-2535-4529)
- ② 毎週金曜日は食事会 ¥350
- ③ 地域に暮らす人たちの話し合いとか生活上の問題の解決に向けて具体的かつ精神的支援を
実行しています。
- ④ 夜間サポート集中試行
 - ・ 夜の居場所 ほっとぽっと別館にて (みみずくの部屋 PM9:00~AM7:00)
 - ・ 夜が明けての朝食会 (こけこっこ朝ごはん) ¥250
- ⑤ 宿泊支援(入院している人の退院支援)
- ⑥ 訪問支援

これ以外バザーやったり色々な事をしています。

皆 さん お お が ん ぼ り 特 に 高 野 さん

太田三郎さん

(共に歩む市民の会:新理事、あけぼの会)

共に歩む市民の会「ほっとぽっと」発足後1年の総会に「あけぼの会」として出席しました。

当初、高野理事長が「職員共々全くの手探りの運営でありましたが区の福祉センター及び周囲の多くの方々の応援を得ての一年でした。」と穏やかな笑みを浮かべて挨拶されました。

つぎに川田事務局長並びにスタッフの方々が八項目の事業（詳細は総会諸資料参照）の活動が報告されました。その内容の豊かさはこの短時間での企画とその実行力が本当に素晴らしく、これ等活動に携わった方々の努力に改めて敬服致しました。

高野理事長が挨拶された時の笑みは「満足気的笑み」であったと納得した次第です。

さて、精神障害者を最も身近に抱えている私達家族会にとって「ほっとぽっと」が障害者の生活支援拠点としての機能を十分に発揮して頂き「障害者の自立を」求めている今後の福祉行政を迎えるにあたり、お互いに絆をより強めて共に歩む頼もしいパートナーである事を期待して、今後とも宜しくお願いします。

武田浩司 さん

(会員、旭びあくらぶメンバー)

フクロウ電話は、利用者と受け手のギャップをどう埋めていけるのか。利用者を広げるにはネットワークが必要と思う。宿泊はアットホームがウリなので、それをのぼしていけばいいと思う。

僕としては、ほっとぽっとにも来られない人への訪問とかニコニコ会に力を入れたいな。大阪神戸の話は時間がなかったこともあって中味がよく伝わらなかった。〈談〉



工藤美絵さん

(会員、「ウィングス」職員)



～これからも一緒に～

ほっとぼっとって色々やってたんだなあ。

共に歩む市民の会の活動を少しづつ手伝うようになってはきたものの、まだまだ門外漢な風情を保っている私ですが、今回の総会第2部の発表を聞いて昨年度末に賛助会員になって良かったなあと思った。

旭区らしい生活支援活動とは、どんなことなのだろうか。

この発表を通してみえてくることは、この調査研究試行事業中間報告の表題にあるように「いっしょに動いた」というところにある。この試行事業は始まりから当事者の方と一緒に活動を進めてきているのだ。

どのようなことで困っているか。それには何が必要か。旭区精神保健福祉連絡会を通して作業所やデイケア、生活教室に通う当事者から意見を集めた。そして、当事者同士のたすけあいをしている旭びあクラブを中心としたふくろう電話などの活動が始まり。宿泊支援の事例では、友人として仲間として一緒に関わった当事者の存在はスタッフ以上に大きい。このように当事者が中心となって関係職員、ボランティアと共にピアして行く事が、共に歩む市民の会の真骨頂であり、共に歩む市民の会の考える旭区らしさなのだろう。

また、訪問支援では、ほっとぼっと開所当時からのコンセプトである、まだどこもつながっていない方へのサポートが行われている。この活動を通じて、フリースペースに立ち寄る人が少しづつ増えてきているとの報告。自分がいつか引きこもったとしても、誰かが顔を見に来てくれると思うと少し安心できた。

このような実践を見聞きしていると自分のできる範囲で自分のできる事を無理をしないでやっていく事の大切さを感じ、私自身できる範囲でお手伝いできたらという気持ちわいてくる。「一緒に動く」ことは楽しい事なのだ。

** 報告書「いっしょに動いたら見えてきた～旭区らしい生活支援活動をもとめて～」

まだ残部があります。必要な方はほっとぼっとまでご連絡下さい。 **





ボランティアさん リレートーク!



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートークが始まります。どうぞお楽しみに。記念すべき第1回は語らい電話のTさんです。

語らい電話のボランティアを始めてからもう2年になる。ボランティアをするのも初めて、電話を通して障害のある方と関わるのも初めてだった。ボランティアを始めた当初、私は無職で不安のなか漠然と将来を考えていた。何かできることを始めたい、そう思って偶然見つけたのが今のボランティアだった。その後、働くようになって、今は福祉施設に勤めているが、これまでのように力み過ぎないで働くことができる仕事に出会ったのも偶然かもしれない。今を偶然に生きているからこそ、これからも偶然の出会いを大切にしたい。

語らい電話 Tさんより

会員紹介



今年で9年目を迎えようとする『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名もの方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。

今号より、そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思っております♪
第1回目はこちらの方です。

No.1:佐伯 彰さん

Q:所属は? -A:神奈川病院

Q:どんなお仕事されてますか?

A:精神科のドクターです。

実は…神奈川病院の院長です、

Q:(周りの人から)佐伯さんてどんな人?

A:患者さんには優しく、厳しく。

職員には厳しく、厳しく…。

歩くことが大好きです。

お酒も大好きです。

でもへビは大嫌いなので、

ハブ酒は飲みません!(たぶん…)

No.2:今野 利絵さん

Q:所属は? -A:神奈川病院

Q:どんなお仕事されてますか?

A:相談室のケースワーカーです。

Q:(周りの人から)今野さんてどんな人?

A:のほほんキャラを装いながら、

実は冷静な大人の女性。

カエルとカメをこよなく愛する

二児の母。

ちなみにへビも、結構好きです。

～事務局ニュース～

ごいっしょにいかが？
旭びあくらぶ主催

花火大会

日時 8月5日(土) 19:30

場所 ほっとぽっと前の公園にて

今年もやってまいりました！恒例の花火大会。みんなで花火をしながら夏の夜を楽しみましょう。



ホームページ作成準備スタート

共に歩む市民の会+ほっとぽっと+旭びあくらぶのホームページを今年度に開設することを目標に準備会をはじめました。

一緒につくっていただける方
アイデア募集集中!!

◆ 会員の方へ 会費納入のお願い ◆

18年度の会費をまだ納めていない方は下記へお振込くださるようお願い致します。

郵便振替口座番号 00280-6-132476

加入者名 特定非営利活動法人 共に歩む市民の会

編集後記

- ☒ 「障害のある方は、3～40kgの重さのリュックをいつも背負って生活する状態なのです。」と亡くなった篠田重孝先生（精神科医）の言葉を時々思い出します。皆様すこやかに夏をお過ごし下さい。 松元
- ☒ ワールドカップが終わり、暑い夏がやってきます。走りながら考えることの大切さを日々の生活にも生かしたいものですね。 森
- ☒ 夏と言えば、海に山に花火にお祭り etc. と楽しいことがてんこ盛りの季節です。広報17号もそんな夏に負けない位盛り沢山の話題で一杯です！！（多分…） 松迫
- ☒ 例年より10日以上遅れた梅雨明け。これも環境破壊による異常気象でしょうか。地球に優しく、人に優しく、電気も人も省エネモードでの～んびりいきましょう♪ 高木